

関谷定夫牧師を迎えて 1954

～ 仙台教会の歴史シリーズ その10～

小林孝男

1. 戦後のバプテスト神学校の変遷

バプテスト教会の牧師が生み出されるためには、神の選びが大前提であることは言うまでもありませんが、本人の召命観と献身の決意、そしてバプテストの信仰に立った神学教育機関も大切です。先人たちは時の流れの中で色々な苦勞と工夫を重ねながら、神学教育機関を維持、発展させてきました。そのお陰もあって、仙台教会に二代目の牧師が与えられることとなります。そのことに触れる前に、第二次世界大戦前後のバプテスト神学校の変遷を概観しておきます。

1941年（昭和16）、日本国内の南部バプテスト系の教会もアメリカン・バプテスト系の教会も、宗教法人法に基づき一つの教団（日本基督教団）として統合されることとなります。それに伴いバプテストの教派神学校であった日本バプテスト神学校は、翌年3月に閉鎖されます。戦後、1946年（昭和21）に西南聖書神学校の生徒募集が開始され、バプテストの伝統に立つ神学生の育成が再開されます。そして翌年には西南学院専門学校に神学科が開設され、1949年（昭和24）にその神学科は、西南学院大学学芸学部神学専攻となり、1951年（昭和26）には西南学院大学文商学部神学専攻と改称します。その後、何回かの変遷を経て現在の西南学院大学神学部に至ります。

2. 仙台教会での働きと生活と苦勞

関谷定夫牧師¹は1949年に医大卒業後献身し、西南学院大学で神学を学び1952年（昭和27）に卒業します。大学で助手をしながら福岡教会の牧師を兼務し、学問研究と伝道・牧会の両立を目指して情熱を注いでいましたが、心機一転、双方とも辞し、開拓伝道を担うために1954年6月2日に仙台バプテスト伝道所に着任し²、グラント宣教師と共に伝道・牧会の働きを担うこととなります。

最初の住まいは北鍛冶町の長屋の一室で、トイレは畑の中の掘建て小屋で随分と不自由な生活を送りました。奥様のご苦勞がつくづくしのばれます。その後、新会堂ができてからはバプテストリー裏の六畳一間が居間兼寢室、またバプテストリーの更衣室が牧師室となります。やがて堤通に土地付きの建物を購入³し牧師館としま

したが、それは関谷牧師の退任が迫った時期でした。また、その物件はかなり古い建物で水道もない有様です。毎朝近くの教会員⁴のお宅へ、バケツで水をもらいに何回も往復するような状態でした。

話を戻しますが、赴任して数日後の6月6日はペンテコステで、関谷牧師が早速礼拝説教を担当されました⁵。当時礼拝は4月から始まったばかりの幼稚園の仮園舎を使って行われており、20名ほどが出席していました。青年会長の大西康雄さん、バプテスマを受けたばかりの大槻国彦さん、婦人会長の莊子聡子さん、会計の中目源太郎さんなど、群れの中心メンバーは将来の教会組織に向けて、希望に燃えて信仰生活を送っていました⁶。

関谷牧師は着任1年後の1955年（昭和30）7月1日⁷に按手礼を受けます。そして関谷牧師司式のもとで最初のバプテスマを受けたのが、大學かへでさん（旧姓飯倉）で7月10日のことでした。その他現在会員では、藤澤雅子さん（旧姓太田）、渡邊慶子さん（旧姓斉藤）、鈴谷洋子さん（旧姓安井）、藤澤良和さん、渡邊眞人さんたちのバプテスマも関谷牧師が司式されました。また、中目源太郎さんと成子さんの結婚式も関谷牧師の司式で、これは仙台教会第一号の結婚式となりました⁸。

この年はグラント宣教師は1年間の休暇帰国の年でしたので、関谷牧師のご苦労は想像に余りあります。特に幼稚園の経営に関しては、ほぼグラント宣教師夫妻による経営でしたので、資金が底をつき幼稚園の先生方への給与の支払いも、保育料だけではどうにも賄えず、大変困ったこともあったようです。

このように仙台教会の開拓時代を担ってくださった関谷定夫牧師と奥様の玲子さんは、それこそ身を切るようなご苦労を重ねながら、託された使命を果たすべく働きにまい進されました。感謝にたえません。但しその結果、お二人とも健康を害されることになってしまいます。いまさらながら申し訳なく思わずにはおられません。

教会組織とその後のケアを成し遂げ、関谷牧師は1957年（昭和32）3月に退任し、再び学究の道を歩まれ⁹、やがて日本の旧約聖書学や聖書考古学の分野で、大きな業績を残すことになります。

¹ 資料(1995/03/26_献堂四十周年記念誌)5-6頁、「仙台教会草創時代の思い出」と題した関谷の文章が掲載されている。

1949年に旧制熊本医科大学を卒業後神学校へ(学芸学部あるいは文商学部神学専攻)。1925/12/26

生まれ、1949/6/9 受浸、2017/6/11 召天

² 資料(1955/03/25_仙台バプテスト伝道所沿革と教会員名簿)

³ 資料(1995/03/26_献堂四十周年記念誌 6 頁、1957 年の冬に購入

⁴ 同上 6 頁、資料(1955/03/25_仙台バプテスト伝道所沿革と教会員名簿)

⁵ 同上 5 頁、説教題は「聖霊の威力とキリスト教会の起源」

⁶ 同上 5 頁。なお、資料(1955/03/25_仙台バプテスト伝道所沿革と教会員名簿)には、教会組織時の役員が次のように記録されている。会計:大西康雄、書記:梶沢信、庶務:中目源太郎、行事委員:江原梅子、奉仕委員:大槻國彦、教会学校長:大槻康雄、幼稚園長:ミセス・グラント、婦人会長:莊子聡子、青年会長:斎藤良樹

⁷ この日は金曜日である。夜に式を行ったのか? 期日は 7 月 1 日で間違いないか?

⁸ 1955/4 挙式

⁹ 同上 45 頁、関谷師は西南学院大学神学科講師として招聘される。